

ヨーグルトの力で健康的な食生活と日々の体調管理をサポート！  
「私らしくヨーグルト新発見」プロジェクト展開中

2025年1月15日（水）から新テレビCMを全国で放映  
～ロゴや全国の量販店で活用できる店頭POPも制作～



一般社団法人日本乳業協会（所在地：東京都千代田区、以下、当協会）は、「私らしくヨーグルト新発見」プロジェクトを2025年1月15日（水）より始動しました。新CM「推し活とヨーグルト篇」、「子育て応援ヨーグルト篇」、「健診見直しヨーグルト篇」を全国TVで放映するほか、youtube・Tver等の各メディアでも配信。更に、TikTokでのショートムービーの公開、ロゴの制作、全国の量販店で活用できる店頭POPを制作しました。

### ■背景

超高齢化社会に直面する「2025年問題」では、健康寿命の延伸が課題とされています。厚生労働省は、「健康寿命延伸プラン」<sup>※1</sup>を策定。その実現に向け、国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした「スマート・ライフ・プロジェクト（SLP）」<sup>※2</sup>を推進しています。

健康寿命延伸には、良質なたんぱく質やカルシウムなどの摂取が必要といわれており、ヨーグルトをはじめとする牛乳・乳製品は手軽にそれらの栄養を摂取できる食品といえます。

また、昨冬はさまざまな感染症拡大の懸念等から、日々の体調管理の重要性がより着目されました。

当協会は、これらを背景に、ヨーグルトを日々の食生活に取り入れていただくことで、健康的な食生活と日々の体調管理をサポートしていきたいと考え、「私らしくヨーグルト新発見」プロジェクトを始動いたしました。

なお、この取り組みは、業界の長年の課題である「脱脂粉乳」の在庫低減策の一つでもあり、脱脂粉乳の最大の需要先である「ヨーグルト」の消費を拡大することにより、脱脂粉乳の在庫低減を図る取り組みでもあります。

※1・・2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸（2016年比）し、75歳以上とすることを目指すプラン。

※2・・“健康寿命をのばしましょう”をスローガンに、「運動、食生活、禁煙」で具体的なアクションを呼びかける取り組み。

### ■キャッチコピー、ロゴについて

一人ひとりの生活のあり方が多様化している中で、それぞれの人が自分らしいかたちで、もう一度ヨーグルトに出会ってほしいという思いをキーメッセージに込めています。

ロゴは、ヨーグルトのカップをモチーフに、カップの角度を変え、世代ごとに制作しました。視点を変えると、それぞれの世代でヨーグルトの新しい発見があることを表現しています。色は世代で区切らず、グラデーションで表現することで、世代のつながりをつくり、人生100年時代といわれる長い期間で、ヨーグルトが虹色の人生をつくる、という思いを込めています。



## ■新テレビ CM について

世代別のメッセージとともに、毎日の暮らしの中にヨーグルトを提案し、再発見してもらおうと考えたテレビ CM シリーズを放映しました。また、TikTok などで“ギリギリダンス”がトレンド入りし、SNS 総再生回数 150 億回を超える大ヒット曲、こっちのけんさんの「はいよろこんで」を使用した TikTok ショートムービーも公開しました。

### ■CM 概要

タイトル：「推し活とヨーグルト篇」、「子育て応援ヨーグルト篇」、「健診見直しヨーグルト篇」

放送期間：2025 年 1 月 15 日（水）～3 月末日

放映地域：全国（一部エリアを除く）

※各種 CM 動画は、権利関係の都合上、現在閲覧不可

### ■「推し活とヨーグルト篇」

20 代は、やりたいことに溢れているものの、健康意識は低い世代でもあります。やりたいことを全力で楽しむために、ヨーグルトでセルフコンディショニングを行うことを提案しています。

推し活でレアチケットが当たった時、当日までの体調管理を意識する。そこで、ヨーグルトの出番です。



### ■「子育て応援ヨーグルト篇」

30 代は、仕事と子育ての両立という新しいステージの中で、慌ただしい日々が始まります。その中で、いつの間にか自分の健康が後回しになっていることに気がつきます。子どもの健康が一番大切、でも子育てするあなたの健康も大切。そんな方にもヨーグルトをご提案します。



## ■「健診見直しヨーグルト篇」

40代は健康曲線が下降し始める世代です。毎年受けている健康診断の結果を踏まえ、ついそのまま何も行動を起こさない方も多いと思います。そろそろ生活習慣を改善しなければならないという意識の中で、簡単に毎日続けられる新しいヨーグルト習慣をご提案します。



## ■一般社団法人日本乳業協会について

一般社団法人日本乳業協会は、乳業メーカーを中心とした企業や都道府県協会など66の正会員（企業会員19、都道府県協会会員44、団体会員3）と、101の賛助会員(25年4月1日時点)で構成しています。牛乳・乳製品について、品質・安全性の向上や生産技術の改善、知識の普及、消費拡大に関する取り組みを行っています。また、協会ホームページや各種啓蒙チラシ等による情報発信、食育授業やセミナーなどを通じて、ヨーグルトをはじめとする牛乳・乳製品の需要拡大、酪農・乳業界全体の活性化を目指しています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

「一般社団法人 日本乳業協会 企画・広報部

TEL：03-3261-9165 担当：金山

Mail：[kanayama.junichirou.nnk@jdia.or.jp](mailto:kanayama.junichirou.nnk@jdia.or.jp)